

令和5年1月27日 発行  
 東京都立しいの木特別支援学校  
 校長 高橋 昌樹  
 担当 大澤 弘幸  
 電話 0436-66-2790

**第9号**  
 (学校便り)

## 令和4年度 人権教育の取組

校長 高橋 昌樹

新しい年が始まりました。本年もよろしくお願ひいたします。本校は令和4、5年度、東京都教育委員会から人権尊重教育推進校として指定を受け、4月から授業実践と全教員による研究活動を積み重ねてきました。施設との連携においては、千葉福祉園、のびろ学園の両施設職員の皆様にも協力いただき、研究を深めることができました。両施設職員の皆様に感謝申し上げます。

今年度の研究の総括として、1月20日(金)、東京都立大学 村松健司教授を講師としてお招きし、研究テーマ「チームしいの木の実践 ～児童・生徒が学び、考え、教職員が追求する人権尊重～」について実践報告会を行いました。報告会では、A、B分科会の研究の報告を行い、村松教授からご指導、ご助言をいただきました。また、村松教授に人権教育に関するご講演をいただきました。

簡単ではございますが、各分科会の研究の概略と成果を報告します。

### 【A分科会】

- テーマ：「自他を大切にす指導の整理と授業実践」
- 方 法：学習計画の段階で人権に関わる要素「言葉掛け」「支援方法」等を明確に示し、学習の評価を教員間で共有する。人権に関わる要素を整理・分類し、共通点や課題を探る。
- 成 果：評価の観点が明確化され、生徒をほめるタイミングや不安定になった際の対応を統一することにつながった。指導の結果、生徒の自己主張や自己決定の数値が上昇したことから、自己を受け止め、自己の可能性に気付く生徒が増えたと考える。

### 【B分科会】

- テーマ：「学校と施設の連携 ～充実したケース支援会議にするために～」
- 方 法：既存のケース支援会議に着目し、両者間で個々の児童・生徒の理解・指導方法を共有するため、学校と施設の役割や違いを「KH コーダー」を活用して明らかにする。
- 成 果：学校と施設では、個々の児童・生徒に対して重視するポイントに差があったことから、支援会議の記録用紙を改善し、連携による効果を両者で検証する機会を設けることにした。

今年度、研究を進める中で、一人一人の教員が児童・生徒の人権について見つめ直し、目の前にいる子供たちの人権を守るために何をすべきかを問い続けた1年でした。本校は、開校以来、家庭を離れ施設に入所している児童・生徒の心に寄り添い、両施設と共に児童・生徒の成長を支えてきました。来年度も「人権尊重の精神を教育の礎」とし、研究の成果を生かしながら個別最適な指導の充実を図り、児童・生徒の能力と可能性を広げていきたいと考えています。

## ICT 実践研修 (全教員による ICT 教材の発表会)

1月5日(木)に校内で ICT 活用研修を行いました。全教員が今年度作成した、または活用した ICT を用いた実践をプレゼンテーションしました。全教員がプレゼンテーションをしたのち、投票をし、ICT 活用実践ベスト3を決定しました。今回選ばれた3実践を紹介します。また、当日は、本校 ICT 外部専門員一般社団法人 SOZO.Perspective 代表理事 海老沢 穰 先生にも来校していただき、一人一人の ICT 活用実践に対し講評をいただき、実りある研修になりました。(主幹教諭 大澤 弘幸)

### 音楽

ハンドベルを鳴らすタイミングを自作動画で示し、生徒が支援なしに一人で演奏できる教材。



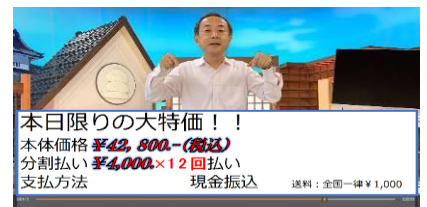
### 家庭

消費者教育で、生徒が協力し合い悪徳商法の動画を撮影・編集し、自分たちの啓発動画を制作。



### 数学

テレビショッピング風の動画を作成し、身近な分割払いの仕組みや損得について学ぶ教材。



本日限りの大特価!!  
 本体価格 ¥42,800-(税込)  
 分割払い ¥4,000×12回払い  
 支払方法 現金振込 送料：全国一律¥1,000

## 小学部

### 2月の予定

1	水	
2	木	榎の実特別支援学校体験・交流 (小学部・中学部)
3	金	学校運営連絡協議会
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	しいの木集会、発達相談
9	木	
10	金	しいの木祭、漢字検定
11	土	建国記念の日
12	日	
13	月	
14	火	避難訓練(地震・火災)
15	水	榎の実特別支援学校とのオンライン交流(高等部)
16	木	
17	金	就業体験(中学部) 校外学習(高等部3学年)
18	土	
19	日	
20	月	整形相談
21	火	
22	水	
23	木	天皇誕生日
24	金	短縮授業日(13時50分下校) 保護者通信発送日
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	

3学期が始まりました。寒い日が続いていますが、子供たちは、元気に登校しています。小学部1組に転入生が入り、全体で6名になりました。今年度も残り3カ月となりますが、事故やけがにつながらないように、教室環境を整えながら、健康に気を付けて過ごしていきたいと思えます。3学期もよろしくお願い致します。

新春の書初めを行いました。自分の順番がくるのを楽しみにし、友達の様子を集中して見ていました。目の前の紙にダイナミックに筆を運び、直線や文字を書いて楽しみながら活動していました。



(文責：山田 麻衣)

## 中学部

### ～新年の始まりとまとめの3学期～

本年も昨年に引き続き、保護者の皆様には学校生活へのご協力、ご理解をよろしくお願いいたします。

美術の授業では、毎月季節のカレンダー作りを行っています。今月は雪だるまを作成しました。手本を参考にしたり、教員と貼る場所を確認したりして作成ができました。同じ作品でも貼る位置や飾りの付ける場所を変えるだけで印象が変わることが面白く感じました。毎月、廊下に掲示している制作物作りでは、今年の干支であるうさぎの絵馬作りを行いました。うさぎの色塗りでは、「トントン」と筆で叩いたり、ダイナミックに塗ったりと、個性あふれる見ごたえのある作品となりました。

(文責：江口太郎)



位置を確認して貼りました。



雪だるまとカレンダーを台紙に貼りました。



筆を使って、干支のうさぎを描きました。

## 高等部

昨年12月後半に高等部2年1組に転入生が入り、高等部は20名となりました。3学期が始まると、お正月気分の余韻に浸る間もなく、しいの木祭に向けての取り組みを頑張っています。3年生は卒業文集の取り組みも行っています。1月12日には、清掃班が2回目の都立知的障害特別支援学校清掃技能検定に挑戦しました。清掃班の生徒たちは2学期末まで作業の時間に繰り返し練習したので、間に冬休みが入りましたが、落ち着いて参加することができました。

3学期の始業式が終わったあとに、1、2年生には1年間の振り返りと次年度の目標を、3年生には3年間の振り返りと社会人としての目標を確認するよう、生徒たちを励ましました。「なりたい自分」と「今できること」を意識し「今頑張ること」を一緒に考え、卒業式・修了式を迎えられるようにいたします。

(文責：古山 武)

